

## 行政報告

第4回町議会臨時会開会にあたり行政報告を申し上げます。

先の町長選挙におきまして、無投票当選により3期目の町政の舵取りを務めさせていただくことになり、その意義や責任の重大さを痛感しており身の引き締まる思いであります。

3期目就任後、初めての町議会開会にあたり、これからの町政運営について、議員各位、そして町民のみなさまに私の基本姿勢をお示しして、ご理解とご協力をいただきたいと思います。存じます。

私は、平成26年7月23日に、「パワフルな行動力と熱いロマン」をスローガンに町長に就任させていただきました。以来、「町民が主人公」を信条として、町民の声に耳を傾け町政運営に取り組んでまいりました。

北海道新幹線長万部駅については、市街地を分断させず、津波災害にも強い駅舎とするため、議員各位をはじめ、北海道新幹線建設促進長万部町期成会など関係機関のご協力をいただき、認可変更を求めて行動を続けた結果、平成29年6月30日に地平駅から高架駅に認可変更の許可をいただいたところであります。

2期目の町政運営にあたっては、町財政の健全化に配慮しつつ、安心・安全なまちづくりをテーマに、防災ラジオの設置を含めた防災行政無線の整備、高校生までの医療費無料化など子育て支援の充実強化、活気あふれる産業の育成など、本町が誇りと希望の持てるふるさととして、未来に向かい永続的に発展できるよう、町民のみなさまと英知を結集し、各種施策の実現に全力を挙げて取り組んでまいりました。

しかしながら、今日、新型コロナウイルス感染症対策、人口減少や少子高齢化の進展、自然災害に対する防災・減災対策など、依然として厳しい環境下にあります。

3期目にあたっては、これらの課題のほか、入園待機児童をつくらない子どもたちの健やかな成長を育む子育て支援、時代の進む速さに驚愕せず、家族の絆や愛、友達との絆、命の大切さを青少年が学び生き生きと成長する環境づくり、お年寄りが健康で安心して日々生活できる福祉サービスの実現、東京理科大学長万部キャンパスとの連携強化、B & G財団との海洋センターを通じた交流、2050年までに二酸化炭素排出ゼロを目指した脱炭素社会の実現、将来の商店街の活性化につなげる展開の推進、津波の被害が心配される町立病院の移転建設の検討、本町通の道道拡幅や土地区画整理事業を含めた都市計画決定など、課題のひとつひとつに真正面から取り組み、その先の未来へ向かって町政を進めてまいります。

行政は立ち止まることができません。福祉・産業・教育、進む人口減少・少子高齢化への対策や国が推進するゼロカーボン、行政のデジタル化、SDGsを実践する町として、アフターコロナを見据えた取組を推進するため、議員のみなさまにも議会でのご論議を賜り、町民との対話による信頼関係をもとに、職員と一体となり、変わらぬ長万部から、変わる長万部に全身全霊をもって努力してまいります。

以上、町政運営に対する抱負を申し述べましたが、改めてこの街を築き、守り育ててくれた先人のみなさまのご苦勞に感謝しながら、私は大地にどっしりと力強く根を張り、風雪に耐え抜く太い幹を育て、しなやかに伸びる枝葉を育てながら、まちづくりに全力を傾注して町長の重責を日々努めてまいる所存であります。

与えられた4年間の任期を、町民の生命と財産を守り、安心・安全な住みよいまちづくりの実現に努めてまいりますので、議員各位、そして町民のみなさまにおかれましては、なお一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます、行政報告を終わります。